

第30回 KITライフサイエンスセミナー



匂いを介した 植物間コミュニケーション

演者 **塩尻かおり** 博士

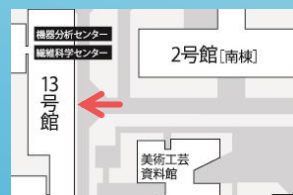
龍谷大学農学部 植物生命科学科 准教授

略歴：北海道大学農学部卒業、京都大学農学研究科博士課程修了（農学博士）
海外学術研究員（UC Davis）、国内学術研究員（京都大学生態研センター）、
京都大学白眉センター助教 を経て現在に至る。
日本応用動物昆虫学会奨励賞、日本農学進歩賞、日本生態学宮地賞、京都大学女
性研究者たちばな賞、大学女性協会守田賞を受賞。日本学術会議連携会員

日時 7月19日(金) 13:00- 14:30

会場 京都工芸繊維大学 13号館4階 多目的室

対象 教員，学生，一般の方



植物は植食性昆虫などから被害を受けると、揮発性物質（匂い）を放出する。この匂いは、被害を与えている昆虫の天敵を誘引することが知られている。また、この匂い健全植物が受容すると、あたかも被害を受けたかのように誘導防衛を開始する。この現象は「植物間コミュニケーション」と呼ばれ、40種以上の植物で報告がある。本講演では、演者の行ってきた植物間コミュニケーションの野外研究を中心に、植物の血縁認識、被食圧とコミュニケーション、また、この現象を農業に展開した研究を紹介する。